

# 鏡川流域パートナーシップだより No.30 R4.12.27



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

## 鏡川流域内関係人口講座フィールドワーク2日目！

鏡川流域関係人口の創出・拡大に向け開催中の鏡川流域内関係人口講座「高知・鏡川 RYOMA 流域学校」の第2回講座として、2日間の現地フィールドワークを実施しました。鏡川流域で活躍する人や店舗などを訪れ、自分らしい鏡川との関わり方を考えるフィールドワークの2日目の様子を紹介します。

### 【1. 菖蒲洞 ほか】



県指定の天然記念物である菖蒲洞を見学。鏡川上流の湧き水でコーヒードリップを体験し、淹れたてのコーヒーを味わいました。

### 【2. 夢産地とさやま開発公社】



大崎理事から、土佐山地域で行っている有機農業の里づくりや林業の実状などについて教えていただきました！

### 【3. 久礼野茶房】



昨年度受講生で、久重地区で活動する橋詰さんと交流しながら昼食。

### 【4. 土佐山アカデミー】



土佐山地域の自然や人などを資源とし、関係人口を創出する取組を多数行っています。事務局長の吉富さんにお話を伺いました。

### 【5. 高知市役所】



フィールドワークを振り返るワークショップを行い、鏡川流域への関わり方を考えました。また、鏡川流域でやってみたいことやできることをグループで話し合い、発表しました。2日間、鏡川の自然や人に触れたことで、自分らしい鏡川への関わり方がより明確になったことでしょう！



講座受講生の皆さんは、「鏡川流域関係案内人」として、まちのコイン「ぼっちり」のスポットになっています！講座などをとおして学んだことや鏡川流域でやってみたいことを体験チケットとして次々と発行していきます！ご自身のプロジェクトをいつでも気軽に体験チケットとして表出できるのが「ぼっちり」の魅力のひとつです。今後、受講生の皆さんが多種多様な体験を生み出すことで、鏡川流域の自然と人のつながりがますます広がっていくはずですよ！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android